

八事山興正寺境内

地図出典：興正寺



1 中門

かつては女人門と呼ばれ、修行の場である東山と西山の境にあり、女人禁制を守っていました。明治になり女人禁制が廃止されたため、現在は中門として五重塔前に移築されています。

2 五重塔

東海三県下唯一の木造の五重塔で、国の重要文化財に指定されています。めったに中を見るることはできませんが、中央の心柱に大日如来が、東西南北に一體ずつ仏が安置されています。

4 カカシ杆となで石

左右の枝が繋がっていることから、縁結びのスポットとなっています。下にあるなで石に願掛け三度なでれば、ご縁が成就します。

興正寺七不思議

1 大日如来の乳首がない

2 潮の干満の石碑

石碑の裏にある穴に手を入れてみると、水に触れることができます。水位が潮の干満に合わせて上下すると言われています。

3 姿見の阿伽井戸

のぞいて水面に顔がはっきり映ると健康だと言われています。

4 金属音のする九品仏

この石の仏様は不思議なことに叩くとカンカンと音がします。

3 本堂

本尊の阿弥陀如来をはじめ、大隨求明王（通称ぼっこりさん）、愛染明王（縁結びの神）、不動明王、寿老人（不老長寿の神）、赤い顔のおびんずる様などが祀られています。おびんずる様の体を赤い球でなでて、自分の体をなでると悪いところが治ると言われています。

6 大日堂

大日堂の下から名古屋城へ通じる地下道がある、徳川埋蔵金が隠されているという、伝説があります。平成24年4月には大日如来の台座の下にあった木箱を取り出し、尾張徳川家2代藩主の光友が書いたとされる文書を回収しました。

5 八町四面結界落雷せす

大日如来のご加護のため、このあたりには落雷による火事がないとされています。

6 宝塔の干支廻り

自分が生まれた干支の上に腰掛けて祈願すると無病息災に暮らせると言われています。

7 大日尊宝前門前疫病出したことなし

大日如来のご加護のため、このあたりには疫病が発生しないと言われています。

昭和区の埋蔵金探しウォーキング

川名～八事

歩いて発見！昭和区の宝物



編集後記

昭和区のまちの隠れた魅力（＝埋蔵金）を再発見しようと、昭和鏡城会及び桜花学園高等学校インターラクトクラブ、一般公募委員のみなさん30名がまち歩き調査を行い、川名～八事周辺の昭和区東部を中心とするウォーキングコースを作成しました。調査にあたっては、桜花学園高等学校の河合保昌先生、昭和区案内人クラブのみなさん、香積院のご住職さんにご協力をいただきました。

ぜひ、このマップを片手に昭和区のまちを歩いてみてください。普段は何気なく歩いている場所にも、新たな発見があるかもしれません。また、同じ道でも、季節を変えて歩いてみると、また違った風景が楽しめるかもしれません。

参考文献：マップ「THE SHOWA」vol.1 塩付街道・飯田街道、vol.3 八事山興正寺、vol.5 滝川・八事丘陵、vol.6 伊勝・川原界隈
(発行：平成25年3月17日 昭和区役所区民生活部まちづくり推進室 ☎052-735-3822)

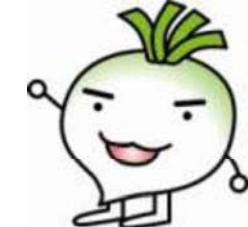


まち歩き調査の様子



ウォーキングのマナー

- 交通ルールを守り、安全にウォーキングをしましょう。
- 一般の歩行者や自転車に気をつけ、広がって歩かないようにしましょう。
- 歩道のない道路では、原則右側通行を守り、車に十分気をつけましょう。
- 大声で話すなど、近隣住民の方に迷惑をかける行為は慎みましょう。
- ゴミは各自で持ち帰りましょう。
- 自然や歴史的建造物を大切にしましょう。



昭和区のマスコット
ショウちゃん

記念品引換確認欄
(平成25年3月17日限り)